



林建材株式会社 本社社屋

- 本社所在地：三重県鈴鹿市
- 事業概要：■建設資材、管工機材、土木資材販売 ■リフォーム・リノベーション・新築事業 ■不動産事業 ■建機車両・建設機械の販売&レンタル ■車検・整備工場 ■生コンクリート製造販売
- 常時使用する従業員：81名（2024年11月期）
- 現在の売上高：46億円（2024年11月期）
- 法人番号：1190001005292
- Web：
<https://www.promarthayashi.co.jp>

林建材株式会社（建材卸業）

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
林 健一郎

この街に、イノベーションを。

当社は創業以来、「お客様起点の発想で考え行動し、会社の発展と全社員の物心両面の幸福を追求する」という経営理念のもと、事業を拡大してきました。現在、産業や社会の変動が、これまで以上のスピードで進んでいます。その結果、新たな事業機会が見込まれる一方で、地域密着型リーディングカンパニーとして、地域社会が抱える課題に取り組むことも求められています。当社が事業活動を通じて社会課題に取り組み、持続的に企業価値の向上と地域社会への貢献を果たし、これからも経営理念を実現し続けるためには、既存の枠組みにとらわれず、さらなるチャレンジを続けていくことが必要だと考えます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2029年の売上高100億円達成に向け、プロマート事業の拡大、建設産業を軸とした新規事業へのチャレンジを中心に、年率20%程度の成長を目指します。



課題

- ・建材プロショップ「プロマートハヤシ」新規出店コスト
- ・新規出店エリアにおける認知向上、市場開拓、販路拡大
- ・新規出店にともなう人材の確保
- ・出店エリア拡大にともなう物流体制の整備
- ・（既存、新規）事業間の親和性、相乗効果の創出

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・建材プロショップ「プロマートハヤシ」の東海エリアを中心とした新規出店拡大
- ・店舗数拡大にともなう物流体制の強化および配送システムのDX化等による物流コスト削減
- ・レンタル事業（建機・車両販売、車検・整備工場）を併設した「プロマートハヤシ」大型店の新規出店
- ・M&Aや建設産業を軸とした新規事業展開による事業規模の拡大

実施体制

- ・2025年度、プロマート事業を本部体制とし、管理機能を強化。多店舗展開の基盤づくりを進めています。
- ・2025年度、各事業の仕入を横断的に管理する部門として新たに商品部を設置。会社全体の利益を創出する部門として、全社の仕入及び販売価格の統制を目指します。
- ・プロマート新規出店を加速するため、プロマート本部内の店舗開発機能を強化。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

グループを通しての成長戦略と地域貢献活動

林建材株式会社は売上高100億円を達成し、「会社の発展と全社員の物心両面の幸福を追求する」という経営理念を実現するため、2019年にハヤシユナイテッド株式会社を持株会社とするホールディング体制に移行しました。ハヤシユナイテッドグループは現在3社の収益事業子会社を有しております。

【ハヤシユナイテッドグループ体制】

《持株会社》

ハヤシユナイテッド株式会社：グループ管理、グループ企画

《収益事業子会社》

林建材株式会社：建材卸（プロマート事業他）、生コン製造販売、リフォーム・新築事業、不動産事業

西口建工株式会社：総合建設業（土木事業、建築事業、住宅事業）

株式会社松阪とうみや：建築金物販売

ハヤシユナイテッドグループの中核をなす林建材株式会社は建設産業を牽引する地域密着型リーディングカンパニーとして、地域社会が抱える様々な課題に積極的に取り組んでいます。

◆SDGsの取り組み

- ・2023年7月19日、三重県SDGsパートナーに登録されました。
- ・2022年に中小企業版SBT認定を取得し、2030年までに温室効果ガス排出量の42%削減を目指しています。
- ・林建材の生コン工場では2021年に環境に配慮したフライアッシュコンクリートの導入を開始しました。
- ・林建材は2020年から鈴鹿市、2021年から伊賀市、2022年から亀山市と、「災害時の物資共有に関する協定」を締結しました。今後も地域社会に貢献する企業として社会貢献活動に取り組んでいきます。
- ・2025年4月1日より、ハヤシユナイテッドは鈴鹿市文化会館のネーミングライツを取得しました。地域の皆さまとともに、文化の力で街を盛り上げてまいります。

林建材株式会社 売上高目標

